

## 旭山登山コース[遊歩道]

旭山登山（あさひやまとざん）コースはサンバレー駐車場を起終点とする手軽な遊歩道で、駐車場から旭山（あさひやま）山頂（1,524m）まで登ることができる。山頂からは周辺の温泉街や一沼（いちぬま）、琵琶池（びわいけ）、北アルプス、長野県（ながのけん）北部の5つの主峰（総称、北信五岳（ほくしんごがく））を望むことができる。

山頂には、外部からこの地域にもたらされた背の高いドイツトウヒ（*Picea abies*）が生えている。この木は、皇族である秩父宮様（ちちぶのみやさま）（1902～1953）が植樹されたものである。秩父宮様はスキーなどのスポーツが大変好きだったことから「スポーツの宮様」と呼ばれることもあったお方だ。1928年、結婚後すぐにこの地を訪れた秩父宮様は、この木のように結婚生活が長きにわたって生まれ、充実するようにとの願いからドイツトウヒの樹を植えられた。

復路の途中には撮影スポットで有名な一沼がある。この沼では、6月には赤いレンゲツツジの花が咲き誇り、10月には山の紅葉が沼の湖面に映し出される。沼を過ぎると、道は2つに分岐する。駐車場にそのまま戻るルートと、琵琶池の湿地帯をうねるように進んでいく距離の長いルートだ。長いルートの方は志賀高原（しがこうげん）の高山植物群をもっと観察したいというハイカーにおすすめだ。所要時間は、すべて歩くと約2時間、短いルートの場合で約90分である。